

リケジョ - 未来シンポジウム@Iwate

サイエンスの学びから将来の夢へ

- ◆ 日時 : 2017年7月2日(日) 13時~16時
- ◆ 会場 : マリオス(盛岡地域交流センター) 188室
- ◆ 対象 : 女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生
- ◆ 参加費 : 無料
- ◆ 主催 : 国立大学法人お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構
- ◆ 後援 : 岩手県教育委員会

多くの理系女性が、研究を始めとして多様な職種で活躍しています。「なぜ理系を選んだか、理系を選んで何がよかったか、大学での学びがどのように役立っているか」を含めて、先輩たちの経験を聞き、直接お話ししてみましょう。きっとあなたの将来に向けてヒントがありますよ。

開会挨拶

講演(13:10~14:40)

講演者(敬称略、カッコ内は学生時代の専門分野)



山本 佳世乃(エコロジー工学) 岩手医科大学医学部助教・附属病院認定遺伝カウンセラー

『紆余曲折でも大丈夫 ー理系からカウンセリングまでー』

工学、生物学を経て認定遺伝カウンセラーとなった。現在は、遺伝性疾患をもつ人のカウンセリングを行うとともに、認定遺伝カウンセラーの教育、また遺伝カウンセリング学分野の研究に従事している。



村井 美代(生物学) 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授

『大正解だった「とりあえず理系に行っておけ」』

盛岡で生まれ、沼宮内で育つ。高校生の頃の好きな科目は「日本史」と「生物」。進路希望調査は「文系」で提出したが、担任の勧めで「理系」に変更、大学で遺伝学を学んだ。その学びをベースに現在は医療職を目指す学生の教育と病原細菌の研究に携わっている。



菅原 悦子(食物学) 岩手大学 理事・副学長

『女性が活躍する地域をめざして ー研究者から副学長へー』

花巻市生まれ。研究テーマは、化学的な視点での味噌や醤油の香りの生成メカニズムの解明。高校の理科実験で化学のおもしろさに気づき、大学で研究・教育と子育てを両立させながら、40歳で博士を取得しました。これらの経験を活かし、理事・副学長として、女性が活躍する大学や地域づくりをめざし、活動しています。

パネルディスカッション(14:50~15:20)

ファシリテーター: 藪部 幸枝(お茶の水女子大学附属中学校教諭)

閉会挨拶

- ◆ 閉会后、茶話会(15:30~16:00) ※講演者とお話しできます
- ◆ 申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/iwaterikejo> から
またはE-mail、FAXで『リケジョ・未来シンポジウム@Iwate参加希望』
と書き、氏名(学校名/学年/連絡先/茶話会参加の有無)を明記の上
6/27(火)までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構 (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/>)

E-mail: coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

要申込
定員100名